（２）　ウイルス検定

○イネ縞葉枯病ウイルス

ア　目　的

ヒメトビウンカのイネ縞葉枯病ウイルス保毒の実態を明らかにし､今後の防除対策に資する。

イ　採集及び検定方法

（ア）供試虫の採集

越冬世代：２０１９年（令和元年）　２月２７日～３月１５日

第１世代：２０１９年（令和元年）　４月１６日～５月２１日

（イ）検定方法

簡易エライザ法により、越冬世代は３月下旬、第１世代は６月上旬に検定を行った。

ウ　結果の概要

表１　越冬世代の各地点における保毒虫率

調　査　地　点	検定虫数	保毒虫率(%)	生息量(頭/10㎡)
長崎市手熊	94	0	18.6
長崎市琴海町	94	1.1	21.2
諫早市多良見町	94	0	34.0
諫早市森山	17	0	5.3
雲仙市国見町	94	1.1	18.4
雲仙市吾妻町	21	0	2.5
佐世保市針尾	94	0	34.0
佐世保市長畑	94	0	12.8

表２　過去の越冬世代の保毒虫率の推移

調査年度	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０	平年	Ｈ３１
保毒虫率（%）	０．８	０．６	０．５	０．８	０．４	１．１	０．３

注）平年値は平成２１～３０年の平均（最大・最小値を除く）

表３　第１世代の各地点における保毒虫率

採　　集　　地　　点	検定虫数	保毒虫率（　%　）	生　息　量 (20回すくいとり頭数)
長崎市手熊	-	-	0.3
長崎市琴海戸根	83	0	8.5
長崎市外海町神ノ浦	-	-	0.1
西海市大瀬戸町	96	0	4.4
諫早市小船越	92	1.1	25.3
諫早市小野	92	0	39.1
諫早市森山	92	1.1	40.0
諫早市多良見町	-	-	2.3
大村市鈴田	92	1.1	55.8
東彼杵町三根	58	0	8.7
雲仙市吾妻町	96	0	11.8
雲仙市国見町神代	92	1.1	49.0
佐世保市長畑	92	0	34.9
佐世保市針尾	-	-	0.1
松浦市志佐	-	-	0.9
平戸市紐差	-	-	1.6
五島市三井楽	-	-	6.8
五島市本山	42	0	9.7
五島市崎山	96	0	0.3
五島市富江	63	0	8.8
五島市岐宿町楠原	-	-	1.3
五島市岐宿町川原	96	0	27.0
壱岐市石田町筒城	-	-	0
壱岐市郷ノ浦町柳田	-	-	0
壱岐市勝本町湯本	-	-	0.3
壱岐市勝本町新城	-	-	0
壱岐市芦辺町田河、当田	-	-	0
県全体	1086	0.4	9.8
平年値	ー	0.9	8.4

*保毒虫率については、30 頭以上捕獲した調査地点のみ算出

表４　過去の第１世代の保毒率の推移

調査年度	H２６	H２７	H２８	H２９	H３０	平年	R１
保毒虫率（%）	０．５	０．４	０．４	０．１	０．４	０．９	０．４

注）平年値は平成２１～３０年の平均（最大・最小値を除く）

○イネ萎縮病ウイルス

ア　目　的

ツマグロヨコバイのイネ萎縮病ウイルス保毒の実態を明らかにし、今後の防除対策に資する。

イ　採集及び検定方法

（ア）供試虫の採集

２０１９年（令和元年）５月下旬

（イ）検定方法

ラテックス凝集反応法により２０１９年５月２９日に検定を行った。

ウ　結果の概要

ツマグロヨコバイの第１世代のウイルス保毒率は平年並であった（第５、６表）。

表５　各地点における保毒虫率

調査地点名	検定虫数	保毒虫数	保毒虫率 (%)
諫早市小野	37	0	0
雲仙市吾妻	114	0	0
大村鈴田	13	0	0
合計(平均)	54.7	0	0

表６　過去の第１世代の保毒率の推移

調査年度	Ｈ２６	Ｈ２７	Ｈ２８	Ｈ２９	Ｈ３０	平年	Ｒ１
保毒率（%）	0	0	0	0	0	0	0

注）平年値は平成２１～３０年の平均（最大・最小値を除く）